

ささえあい

# 共生未来へ

<11>

## 住まいのヒント

地球は大きいと思ってきましたが、意外に小さく、私たち人間が使用するプラスチックや農薬などの合成化学物質が、簡単に地球規模の環境に影響を与えることが分かっています。

このようなくちから省エネ住宅、エコ住宅、環境共生住宅なる言葉が生

ガソリンや灯油の使用が、即地球の温暖化につながっています。現在の気候は、私たちが子供のころとは確かに違っています。昔は食べられるドジョウやイナゴがたくさんいました。

「快適な住宅をつくる」ことは、灯油やガス、電力をより多く消費し、化石燃料の枯渇化を早め、さらに地球環境に負荷をかけることになりかねません。最近普及してきた高気密・高断熱住宅は、従来工法住宅より快適でありエネルギー効率も上昇してはいますが、総消費エネルギーは多くなるのが一般的です。

まれました。人も自然の生物の一員、適切な自然環境なくして人は生き得ないとの考えが基本にあります。これらの新しい言葉の住宅は、その住宅が建つ地域・土地の気候などの自然条件を良く考え、それらと上手に折り合いをつけ、生かすこと

では新エネルギー財団と市からの補助金がでるため、個人負担分は必要な費用の約半分です。

生産した余剰電力は電力会社が一キロワット当たり二十二〜二十三円で買取り、それらと上手に折り合いをつけ、生かすこと

元するには約二十六年を要することになり、それは発電装置の寿命とほぼ同じ年数になります。

## 太陽光発電 環境にやさしい資源

を求めています。また、それは資源・エネルギーを浪費しない住宅をつくることでもあります。

地球の温暖化を食い止める重要な手段の一つに太陽光発電が取り上げられています。個人住宅にも設置されるようになってきました。個人住宅に設置する場合は、上越市

（杉田収・県立看護短大教授）上越市



関川の土手で遊ぶ保育園児。この子どもたちの未来のために、